

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ACADEMY PLUS		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 2月 8日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校での集団での参加場面に対して、学習面、対人面等を客観的にみること。	学校の中でできること、できないことを分析し、学校やご家族等と共有する。	本人の発達成長の部分を踏まえて、今できること、難しいこと、今後できるといいことなどに分類して環境と共有していく。
2	定期的な訪問を継続することで環境の変化、本人の成長等の変化を観察していくこと。	必要に応じて、訪問間隔を狭めたり、空けたりすることにより、目的を持って訪問する。	継続した訪問によって、本人の成長、環境の変化を的確に学校等の環境に伝えていく。
3	専門的な観点を持った訪問員による訪問観察	どこの部分を観察するのか専門的な検知から課題としてあげる部分を見極めること。	様々な環境を継続して訪問することにより、観察点のさらなる向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問員の負担の軽減	訪問件数が年々増えてきており、訪問先から次の訪問先までの距離があったり、訪問目的も多様化している中で負担が生じている。	必要に応じた訪問件数を調整し、環境等に任せていく部分を見越して訪問回数を調整していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ACADEMY PLUS

公表日 2025年 3月 13日

利用児童数 45

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	1	0	10	使用する教具教材が何か分かりません。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	19	0	0	4		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22	0	0	1		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	22	1	0	0		学校等との環境場面との共有会議にて調整をしています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	20	1	0	2		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3	0	0		訪問の目的を学校等との共有会議にて明確にして訪問を実施するように努める。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	4	0	1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	19	1	0	3		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	7		ガイドラインを必要に応じて確認しながら実施をしていく。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	4		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2		学校現場での観察について、共有会議等で訪問方法について確認をしながら実施をしていく。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	21	0	0	2		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	3	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	1	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	1	2		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	1	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17	1	1	2		訪問時に学校等の環境へご負担が生じないよう、共有会議等にてご家族も交えてお伝えしていく。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18	0	1	2		訪問導入の際に必要な応じた訪問回数後に共有会議開催を設定するように努めていく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	19	1	1	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	0	3		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	1	2		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	1	1	5		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	1	5		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	17	2	1	1		を導入する際、本人自身の普段の様子を観
	28	事業所の支援に満足していますか。	20	0	1	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 3月 13日	
ACADEMY PLUS		利用児童数			40 回収数 18	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	3		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問回数はたくさんっていただいたのですが、今回の場合、保護者にお子さんの学校での様子をご理解いただくとか、中学校への具体的な移行支援に活用するというねらいが、あまり達成できなかったと思います。また回数ももう少し減らしていただけるとありがたいです。 ・具体的であり、分かりやすいものですが、取り入れるのになかなか難しいと感じるときもあります。 ・提案があまりないように思う。 ・訪問支援員さんからの助言や説明はなかった。(代表の方が毎回来てくださり、その方が助言や説明があったため) ・丁寧に見ていただきありがとうございます。 ・いつも大変お世話になっております。助言や説明だけではなく、保護者を交えたケース会や、本人に対する支援までしていただき、本当にありがたく思っています。 ・別の視点から生徒を見てくれるので、本人の見立ての参考になる。 	最初に訪問の目的を的確にした上で導入会議で共有し、訪問記録を定期的に学校等の環境やご家庭にご確認いただけるよう努めます。また、学校等への環境調整については、共有会議等を活用して環境側が「今、できること」「できないこと」「今後、できること」「目指すこと」などを整理しながら、ご家庭等と共有しながら進めていくよう努めていく。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問について毎回レポートにまとめていただいて、ありがとうございます。本見へのかかわり方に対するアドバイス等、もう少し具体的にいただけますと、ありがたかったです。 ・児童を客観的に捉える力に長けており、こちらも新たな視点で児童を見ることができています。 ・2回程であったことと児童との関わりはあまりもてなかったため、よく分からなかった。 ・参考にさせていただいています。 ・学校の中では、どうしても全体の中の1人になってしまうので、個別に様子を見ていただくと新しい気づきが毎回あります。また、保護者へのフィードバックもありがたいです。知識が豊富なので、アドバイスがより専門的であることがありがたい。 	学校等での集団でのご様子について、ご本人にフォーカス視点での観察と環境の中でのご本人にフォーカス視点を含めて観察をしていく。観察するポイントをよりの確にできるよう継続して知識、技術の向上を図ります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・学校側も忙しく、訪問いただいた後に支援についてのご高評をいただく時間がとれず、申し訳ありませんでした。 ・質問に関しても、代表の方に質問していたため、訪問支援員さんとお話することがなかった。 ・学校の中の様子だけではなく、保護者との話や通所支援での様子も教えてくださり、指導の役に立っています。 ・生徒を小学校の時から見てもらっているので、成長した部分や課題を整理して答えていただけなので、ありがたい。 	ご家庭との面談や学校等での共有会議にてご不安なことや疑問についてお話しをできる機会を提供する。また、可能な限り訪問支援員も会議に同席してご家庭等ともお話しができる機会を作っていきます。	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の保育所等訪問は、保護者におこさんの学校での様子をご理解いただくというものだったと思うのですが、保護者の理解は進んだのでしょうか？ ・児童が週1の登校ができるのは、保育所等訪問支援のおかげだと思います。 ・第三者の立場で、保護者と学校間での児童の状況把握や共有を支えてくださっているのがありがたいです。 ・一緒に訪問し活動してくださっていることで、定期的に学校に登校できるようになった。 ・こういった支援があることを知らなかったので、とてもありがたかった。またつながりができたこともありがたい。 ・助言について、担任や特別支援コーディネーターと共通理解を図っている。 ・同じ児童をさまざまな立場や角度から見て、その上でケース会を行うことで、より実態に即した、意味のある話し合いができるようになったと思います。 ・学校や家庭での問題を取り上げて、自分と向き合う活動を入れていただけるので、ありがたい。 	ご家庭での課題やお困りごとについて、学校等の環境の中で本人が自分らしく過ごしていけるよう訪問を導入して環境調整を実施。ただし、学校等の環境等の協力が必要不可欠であるため、定期的に共有会議を開催して目指す方向性を揃えていけるよう努める。
5	事業所からの支援に満足していますか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても確かなアドバイス等をいただき、保護者との連携、何より学校との連携を大事にしてくださいとありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。 ・児童に対する個別の教材もたくさん用意していただき、みんな勉強させていただいています。 ・困り感があることを相談できる。 	学校等での環境調整が訪問の大きな目的となるため、ご家庭での不安、困りごとの根底に何があるのかを見極めた訪問の導入と、環境を客観的に観察して継続してご本人が安心して過ごせるよう支援を継続します。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ACADEMY PLUS		公表日		2025年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		訪問件数が年々増え続けている現状を踏まえ、必要に応じた訪問期間を見極めていく。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		訪問支援への研修が少ないため、これまでの経験等に依存することが多い。必要に応じてスタッフ間での資質向上を図る。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		学校等との共有会議で医療が参加するケースが見られる。継続して他機関との連携に努めていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1		専門機関等への研修、助言について今後も必要に応じて導入していく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		協議会等への参加に対して訪問支援員ができていない状態。必要に応じて参加を進めていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	ペアトレ等にて交流の機会を作る。	ペアトレ実施の際はご家庭にお伝えして参加してもらう機会を提供する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		訪問導入の際には期間を空けてからの共有カンファを設定し、ご家庭を含めて現状の共有をしていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		